

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-141	14-316	慶應義塾大学
題名(原題/訳)		
Dissemination of a computer-based psychological treatment in a drug and alcohol clinical service: an observational study. 薬物とアルコールに対する臨床サービスにおけるコンピュータ・ベースの心理的治療の普及: 観察研究。		
執筆者		
Kay-Lambkin FJ, Simpson AL, Bowman J, Childs S.		
掲載誌		
Am J Infect Control. 2014 Aug;42(8):841-6. doi: 10.1016/j.ajic.2014.04.008. Epub 2014 Jun 2. Addict Sci Clin Pract. 2014 Aug 9;9:15. doi: 10.1186/1940-0640-9-15.		
キーワード		PMID
コンピュータ、健康管理、うつ病		25106668
要旨		
<p>背景: 健康問題の管理の通常臨床診療に対するアドオンとしてのコンピュータ・ベースの心理的治療 (CBPT) の可能性のエビデンスが明らかになりつつある。</p> <p>目的: 本研究は、公的に資金を供給されたアルコール/他の薬物 (AOD; Alcohol /Other Drug) での臨床業務をしている臨床医が、いつ、そして、どのように実地臨床における共存にある鬱病とアルコールまたはカンナビスのための CBPT プログラム SHADE (Self-Help for Alcohol and other drug use and DEpression) を知り、利用しているのかを明らかにする。</p> <p>方法: Australia の Central Coast of New South Wales で AOD サービス内で働いている 13 人の臨床医が、試験に入れられた。試験開始時に、全 13 人の臨床医は、コンピュータに対する不安とインベーションに対する開放性について評価された。ベースラインと 15 週間の引き続いての臨床評価の完了に同意しおよび資格のあるクライアント (N=35) を、臨床医は本研究を参照させた。評価は、独立の研究助手によって管理される精神衛生と AOD の測定値の範囲から成った。本研究のコースの全体にわたって、臨床医は、セッション内容 (SHADE が各クライアントのために使われた内容と範囲を含む) に関する情報を詳述しているセッション・チェックリストを提出した。</p> <p>結果:</p> <p>記述統計は、臨床医がさまざまな方法で SHADE プログラムを使用していることを示した。SHADE モジュールが使われたとき、それらは通常、治療の初期相で、平均でおよそセッション 4 (M=3.77, SD=5.26, 範囲 1-36) で使われていた。しかしながら、セッション・チェックリストが利用できた 35 人のクライアントのうちわずか 12 人が SHADE モジュールに公開された; 現在の治療計画の間、35 人中 28 人のクライアントが CBPT を使用する用意があることを示している。</p> <p>結論:</p> <p>現在の試験の AOD サービスの治療を求めてくる者は、通常、SHADE の様な CBPT を受けることを受け入れた;しかしながら、臨床医はクライアントのわずか 34 パーセントで SHADE を使用する傾向にあった。これは、最初の訓練セッションに加えて、進行中のサポートと奨励を臨床医に提供すること、そして、臨床診療に革新的な技術の採用を促して、奨励することが、おそらくよりクライアントに CBPT に関する議論に参加させるために、重要であることを示す。</p>		